

平成 26 年度 環境安全技術系活動報告

釣田幸雄

工学系技術支援室 環境安全技術系

はじめに

平成 26 年度の環境安全技術系は、課長 1 名、課長補佐 1 名、第 1 技術班班長 1 名、第 2 技術班班長 1 名、第 1 技術班班員 4 名、第 2 技術班班員 5 名の合計 13 名により構成した。前年度からの構成上の変更は、課長補佐の退職に伴い、班長 1 名と班員 1 名の昇格人事、及び 1 名の新規採用を行った。なお、第 1 技術班班員 1 名が産休であったため、実質は 12 名で業務に当たった。

1. 環境安全技術系の実施業務

本年度については 48 件の業務依頼がありこれを完了した。なお依頼件数は昨年度と比較して 5 件の増加となっているが、年間の総業務時間数については、大きな変化はなかった。依頼業務 48 件の内、32 件が年間業務、16 件が 1 週間以内の短期業務であった。また業務時間数の比（年間業務時間数／総時間数）が 97.6 パーセントであったことから、当系への依頼業務は年間業務を中心としていることが特徴である。なお、年間業務のすべてが昨年度からの継続業務であり、業務の継続性が高い事も大きな特徴となっている。

具体的な業務内容では、業務時間数の多い順に、

- ・放射線安全管理室の業務
- ・環境安全管理室の業務
- ・環境安全衛生管理室の業務
- ・核燃料管理施設の業務
- ・コバルト 60 ガンマ線照射室の業務

となっており、学部内・大学内の共通的な業務への従事時間が多くなっている。その他の業務として、化学薬品管理用サーバーの管理、工作機器の管理、学生実験支援業務などの年間依頼業務も担当している。また、作業環境測定の実施等について、他系構成員との共同作業による業務も行った。

2. 業務調整会議

当系での業務調整会議は、課長 1 名、課長補佐 1 名、班長 2 名の合計 4 名で構成し、系内での業務振り分けなどの作業を担当する。しかし本年度に関しては、依頼業務に振り分けが必要となるものは 1 件もなく、結果的に一度も開催する事はなかった。他方、系構成員の全員参加により、基本として毎月 1 回、業務の打ち合わせを行った。

3. 専門委員会

環境安全技術系の専門委員会を 9 月 26 日（金）に開催した。平成 27 年度退職職員（2 名）の後補充計画について審議し、採用計画調書（平成 28 年 4 月 1 日採用）を作成した。